

日本共産党 日本共産党江東区議団  
 ☎03-3647-3651 FAX03-3640-5222  
 ホームページ http://www.jcp-kotokugidan.gr.jp

# 江東区議団 ニュース

NEWS 2024年8月号 区議団HP



# 若者に家賃補助を 高齢者の生活支援ただちに

第2回定例区議会(6月11日~6月27日)が開かれ、11日の本会議では日本共産党区議団を代表して、大つきかおり議員が質問に立ちました。



7月17日 選管事務局長に申し入れ書を提出する区議団

都知事選  
 都議補選

## 期日前投票の改善に向け 区選挙管理委員会へ申し入れ

日本共産党江東区議団は、江東区選挙管理委員会に対し、7月7日執行の東京都知事選挙ならびに都議会議員補欠選挙の期日前投票に関する申し入れをおこなっていました。

都知事選挙のみ期日前投票ができる期間に投票した区民の方々から、「投票所入場整理券を選管職員に回

収されたが、都議補選は投票できるのか」などの問い合わせが相次いで区議団に寄せられました。

区議団は選挙管理委員会に対し、今後、このようなことがないよう改善を求めました。

選挙管理委員会事務局長は、「問題意識は持っている。今後、期日前投票については検討したい」と述べ、後日、今後改善したい旨の文書回答がありました。

大つき議員は、女性の平均賃金が男性の7割に止まり、非正規雇用は圧倒的多数が女性であること、政府が選択的夫婦別姓も同性婚も認めようとせず、戦前同様の家父長主義的家族観を押し付けようとしているなどの実態を示し、区長に、日本のジェンダー不平等の現状についての認識をただしました。

また、江東区の女性管理職や審議会等の女性の割合が目標には程遠い状況だと指摘。目標達成のための具体的計画の策定を求めました。

物価高騰が続くなかで、区民からは、「これでは暮らしが求められない」と悲鳴が上がっています。

大つき議員は、江東区が、区民の暮らしを守る役割を果たすことが求められているとして、共産党提案で実現した全事業者を対象とした水道光熱費・燃料代の補助に加えて、店舗等への家賃

### 暮らし応援の区政を

子育て支援では、出産後1ヶ月前後に産後うつ発症が多いなど実態を示し、早期に産婦の心身の状況を把握し支援するための産婦健診の実施を求めるとともに、経済的負担の軽減と地域の子育て資源の活用を促進するための「子育て応援券」の発行を求めました。



大つきかおり議員

賃助成の再実施、住宅リフォームや店舗改修への助成制度の創設、ホームページ開設補助等の拡充、公契約条例の制定を求めました。

また、物価高騰で家賃の負担が重くなっていると、若者や高齢者への家賃補助、熱中症対策として低所得高齢者世帯へのエアコン設置助成を求めました。



耐震補強が必要な一部荒川堤防護岸

### 災害に強いまちづくりを

大つき議員は、首都直下地震や、激甚化する風水害から区民の命と財産を守るため、防災対策の一層の強化が求められると指摘。マンション耐震化への診断・設計・工事費に対する助成額の拡充、浸水を前提にした大型開発中心のまちづくりではなく、耐治水堤防

### ジェンダー平等と人権対策の促進を

臨海部のまちづくりでは、東京都がカジノ誘致を諦めていないと指摘。本区臨海部へ誘致する動きがあった場合、毅然と反対を表明するよう求めました。

### 教育費のさらなる負担軽減を

大つき議員は、文科省が行った子ども学習費調査では、小学校で年間6万5千円、中学生では13万円以上もかかるなど教育費が家計を苦しめていると指摘。

江東区として学用品の無償化、給付型奨学金の対象拡大や奨学金返還の助成制度を実施すべきではないかと質問しました。

また、南部地域へのブリッジスクールの早期開設や特別支援教室の教員配置の拡充、情緒障害支援学級の増設などに教育環境の整備を求めました。

さらに墨東支援学校では教室をカーテンで仕切るなど劣悪な環境で子ども達が学ばざるを得ない実態を示し、都に特別支援学校の増設を求めるとともに、学費負担の軽減を求めました。



# パートナーシップ制度の早期実施を



赤羽目たみお 議員

当初区は、条例改正を行い今年4月から江東区版パートナーシップ・ファミリーシップ制度を実施するとしてきました。しかし、自民党など反対派の圧力を受け、実施を先延ばしにし、今議会での条例改正

を見送ってしまいました。

このことについて区は、柿沢未途元衆議院議員の有罪が確定したことに伴い、木村前区長に連座制が適用され、木村前区長の当選が無効になり、大久保区長の施策として実施するため、男女共同参画審議会に再諮問することから今議会への提案を見送ったと説明しました。

赤羽目議員は、多くの区民が待ち望んでおり、先送りされたことは非常に残

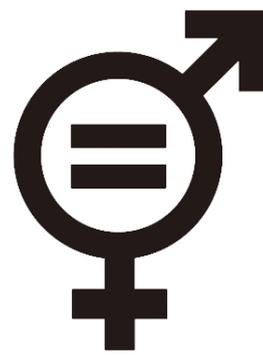
念。本制度は、性の多様性が尊重され、価値観や生き方など様々な違いに理解のある社会を促進し、生活上の不便や生きづらさを感じている婚姻関係にないパートナーの2人や、その親族が家族として暮らしやすい環境づくりに繋げるための制度であるという意義と必要性について区の見解を質問しました。

区は、LGBT等当事者の方が直面している日常生活における課題の解決のため、

めに、本区においてパートナーシップ制度の導入は有効と答弁。

清風会の委員は「同性婚は憲法で認められていない」と発言。

自民党の委員は「前回の諮問では賛成者の意見聴取に偏っていた」「再諮問においては、反対者の意見も聞くべき」と述べました。



め、160本の樹木に影響が出るのが明らかになりました。区は「基本は移設」と説明していますが、今後の設計を注視していく必要があります。

区は、ParkPI方式で財政負担を減らせるとしていますが、区民の財産である公園を民間企業の儲けの場に変えるものだと言わざるを得ません。

# 委員会論戦

第2回 定例会

## 住民の願い届けて全力



大つきかおり 議員

江東区は、若洲公園が整備後30年経過していることから、ParkPI方式で再整備を行う事業者を公募。今年3月に事業者を決定しました。

ParkPIとは、「公募設置管理制度」の通称で、若洲公園の整備では、キャンプ場、駐車場、飲食施設を民間事業者が設置・管理を行います。通常、公園内の建物の建

### 若洲公園を企業の儲けの場にする整備計画は見直しを

坪率は敷地面積の2%ですが、同方式では10%を上乗せすることが出来ます。

また、施設の整備を事業者が行うため、整備費用を回収するための期間を補償するために管理期間は20年と極めて長いのが特徴です。

#### 利用料の値上げ 樹木伐採の危険も

現在若洲公園のキャンプ場利用料は、1泊2日で大人500円、子ども300円ですが、改修後いくらになるのか決まっています。また、東京湾に面した場所に新たに整備される飲食施設の眺望を確保するた



現在の若洲公園の様子

### 木村前区長の当選が無効に 給料返還請求、退職手当不支給へ

木村前区長に対する公職選挙法違反裁判で、懲役1年6か月、執行猶予5年の有罪判決が確定しました。その結果、昨年4月にさかのぼって木村前区長の当選が無効となりました。



江東区議会棟

区は支払い済みの給料等約1千万円の返還請求と退職手当約460万円を不支給すると発表しました。木村前区長と同様のSNSに係る公選法違反容疑で、維新の会・千田議員も書類送検されるなど、この3年間で6人の区議が逮捕・起訴等される異常事態です。

日本共産党区議団は、再発防止と区民の信頼回復のため、政治倫理条例の制定を提案。議会で条例制定に向けた取り組みが行われている一方、区側は条例制定を拒否。クリーンな区政実現への大久保区長の本気度が問われます。

### 学用品無償化の意見書 自民・参政・無所属・公明などが反対

区議団は、今定例会に「イスラエルによるガザへの攻撃中止と即時停戦を働きかける外交努力を求める意見書」、「義務教育における学用品の無償化を求める意見書」の2本を提案しました。

イスラエルの残虐非道ながら攻撃の即時停止に

向け、日本政府による国際社会への働きかけ強化を求めるものですが、自参無と公明党が「政府は対応している」として反対。

学用品無償化では、「学校給食無償化の全国一律化が優先」として自参無・公明などが反対しました。

# 災害時のゴミ処理計画 訓練・検証を行い実効性あるものに



正保みきお  
議員

正保議員は、区の年間ゴミ量は9万トンだが、大規模災害時のゴミ量と処理についてはどうなっているのかと質問。区は、



新江東清掃工場

災害時には平常の約3倍、271万トンの災害ガレキが発生する見込みと答弁。正保議員は、災害ゴミの処理計画について、実際に運用できるのかどうか訓練を重ねながら検証していくべきと提案。区は「現在、現場職員と訓練の実施について検討している。計画の実効性を高めていきたい」と答弁。

## 仮校舎までのバス運行は柔軟に

区では、小学校の改築・改修に伴う仮校舎までの通学方法について、対象校の学区が仮校舎の中心から2キロメートル以



内の場合には徒歩通学とし、超える場合はバス通学としています。しかし、小名木川小学校から大島仮校舎への児童の徒歩通学について、小1の児童と保護者が一緒に歩いたところ仮校舎まで50分かかると、児童の安全と負担を考慮して、仲よし学級と1・2・3年生のバス通学を求める区民の陳情が審議されています。正保議員は、区は「学校選択制の通学距離2キロメートルを参照するというが、距離だけでなく通学の安全等を踏まえて柔軟に対応すべき」と求め、

# 交通弱者に寄り添う交通システム確立を

## 公共交通に関するアンケート調査結果

6月21日、交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会が開催され、今年、区が実施した「公共交通に関するアンケート調査結果」が報告されました。



すがや俊一  
議員

同調査は高齢者や子育て世帯等への移動支援が必要な区民に対し、都営バス路線網を補完するコミュニティバスやデマンド交通（予約制乗合ワゴン車）などの導入検討に向けたもので、「大島地域など城東地区の交通弱者対策に関する陳情」の要望項目に沿うもの。調査結果の主な特徴は、「買い物」でのバス利用者が39%、「その他の外出目的」でのバス利用者は46%。「そ

他の外出目的」での最多は「通院」が33%。また、4人に1人が「交通が不便」と回答しています。「新たな区営バス路線の利用有無」では、「利用する」が63%。デマンド交通は32%が「利用する」となっています。すがや議員は、大島地域の高齢者の願いは切実だと、早期実施を求めました。

## 地下鉄8号線延伸 都市計画決定・着工

同・委員会では、地下



地下鉄・住吉駅

鉄8号線（有楽町線）の延伸について、本年6月17日付・都の都市計画決定告示を受け、東京メトロが着工に向けた取り組みを進めると報告。総事業費2,690億円、豊洲〜住吉間5.2km、東陽町の他、中間駅には仮称・枝川駅と千石駅を整備。2030年代半ばの開業を目指すとしています。

# 東砂2丁目都営住宅建て替え 住民に寄り添った計画を



西部ただし  
議員

6月24日、防災・まちづくり対策特別委員会において、東砂2丁目都営住宅の建て替え計画が報告されました。

建て替え計画全体のスケジュールは、全5期程度、1期あたり概ね4年程度で建て替えます。第1期は、2026年春以降を予定しており、はじめに、9号棟と14、18号棟の6棟を建て替えます。計画では、14号棟跡地に高さ3.9mの高

## 住民の声を代弁

住民からは、建て替え中に他団地に引越すと、職場や病院が遠くなる、自分や家族の介護が今まで通りできなくなってしまう可能性があるなど新生活の不安や、建て替え後の家の間取りが今より狭くなる、引越す費用や体力が心配など、建て替えに関する不安や懸念の声が多く寄せられています。西部議員は、住民から寄



東砂2丁目都営住宅

せられた声を代弁するとともに、22棟ある団地で唯一エレベーターのない10号棟に関して認識を問いました。東京都は、「移転料は都の基準で17万1000円。居住者の世帯構成に沿って建て替え後の移転先は計画する。建て替え中に区内の他の団地に転居をお願いするケースがある。住民の不安や要望等は真摯に受け止めたい。10号棟は2期以降で建て替えを想定している」などと答弁しました。

## ●第2回定例会の主な議案等に対する各会派等の態度

議案	共産 5人	自参無 (※) 12人	新時代 (※) 6人	公明 9人	共生 (※) 5人	清風会 3人	立憲 (※) 2人
補正予算第2号 (物価高騰支援給付金等)	○	○	○欠1	○	○	○	×
監査委員選任	×	○	○	○	○	○欠1	×
マイナンバーを利用拡大 する条例改定	×	○	○	○	○	○	×
若洲公園の再整備に 関する条例改定	×	○	○	○	○	○	×
インボイス制度の延期・見直しを 求める陳情の不採択	×	○	○	○	○	○	○

※自参無…自民党、参政党、無所属の議員が所属する会派  
※新時代…都民ファースト、あたらしい党、無所属の議員が所属する会派  
※共生…維新、国民、無所属が所属する会派  
※立憲・市民の会…立憲民主党、市民の声の議員が所属する会派

# 浸水を前提とする街づくり計画

## 西大島駅前・大島3丁目1番地再開発

7月10日、江東区総合区民センターにて「大島3丁目1番地区再開発事業計画」の第4回地域連絡調整会（公募の近隣住民、町会・自治会・商店会、地元区議会等）が、4年ぶりに開催されました。



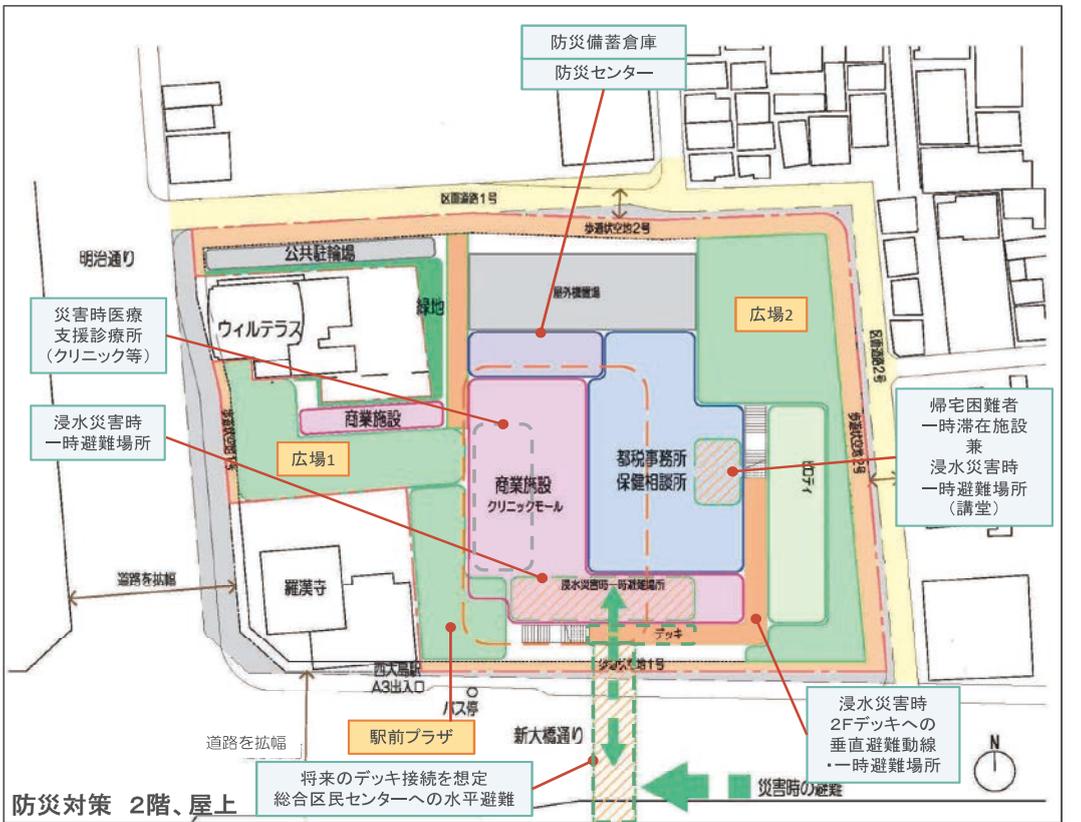
大島3丁目開発地域（西大島駅）

この計画は、開発地区の地権者と野村不動産などに  
よる「大島3丁目1番地再開発準備組合」が進めているもので、城東保健相談所や都税事務所が含まれています。当初50階建のタワーマンションは、過去3回の地域連絡調整会での住民要望により、42階に変更。

避難所スペースの拡大  
備蓄物資拡充を求める

この間、区では「都市計画マスタープラン」を改定。城東地域を「浸水対応型のまちづくり」としたことから準備組合は区と協議。計画案を「浸水対応型」に見直し提案したものです。公共・公益施設は、荒川氾濫時の5mの浸水に対応するとして1階を6mの高床式にして垂直避難用のデッキを配置し、保健相談所と

一時避難所は、一人2㎡で385人程度の収容とし、備蓄物資も1・2週間の想定です。区議団は、荒川氾濫時の浸水期間が、都の通知では23日以上であり、避難生活の継続に一人2㎡では困難だと指摘。備蓄物資の不足も明らかであり、準備組合に対し、再検討することを求めました。



大島3丁目1番地地区第一種市街地再開発事業 第4回地域連絡調整会

# 江東区の新庁舎は

## 現庁舎敷地が有力

2024年度内に  
基本構想を策定

新庁舎建設基本構想の策定に向けて、本年5月と6月に区議や公募区民、学識経験者等を交えた策定会議が開催され、新庁舎の必要性や基本理念、建設場所について議

論されました。その中で区は、新庁舎の建設地については他の区有地と比較した結果、現在地を適地としました。区は、今年度内に建設地などを盛り込んだ基本構想を策定。28年度以降に設計などに着手を予定しています。今後、江東区と同程度の

市区町村の事例を考慮して、導入機能や規模、事業手法の整理などについて議論していくとしています。区は、幅広い区民の声を聞くために区内3地区でワークショップを開催するほか、こどもの声を聴くため、小学校5年生から中学生までを対象に、インタビューを実施。さらに、庁舎の利用状況や新庁舎への希望などを把握するため、区民アンケートを実施するとしています。

### 議会日程(予定)

- 9/10(火) 請願陳情締切日
- 19(木) 本会議(初日)
- 20(金) 本会議(継続)
- 25(水) R6年度予算委員会
- 9/26(木) R5年度決算委員会
- 10/3(木) "
- 4(金) 企画総務委員会
- 7(月) 区民環境委員会
- 8(火) 厚生委員会
- 9(水) 建設委員会
- 10(木) 文教委員会
- 15(火) 清掃港湾・臨海部
- 16(水) 交通・地下鉄8号線
- 17(木) 防災・まちづくり
- 18(金) 医療・介護・高齢支援
- 23(水) 本会議(最終日)

どんなことでもお気軽にご相談ください

生活相談案内  
あいうえお順



赤羽目 たみお  
区議会議員  
江東区石島9-15  
☎5665-1115  
第2・4水曜・午後6時半



正保 みきお  
区議会議員  
江東区北砂4-24-1  
☎3640-4376  
第3木曜・午後6時



すがや 俊一  
区議会議員  
江東区大島8-2-110  
☎3683-1074  
第4火曜・午後6時



西部 ただし  
区議会議員  
江東区東砂7-110-24  
☎5683-1818  
第3金曜・午後7時